

技術基準作成基本方針（案）

平成17年 月 日 技術委員会承認

1．技術基準の作成目的

高圧ガス保安協会（以下「協会」という。）は、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造、設計、試験、検査等に関する保安を推進するために、関係業界のニーズを踏まえつつ、最新の技術的知見等に基づく技術基準の制定及び改正を行うこととする。

2．技術基準の体系

協会の技術基準は、次の（1）から（3）までとする。

（1）規 格（KHK Standards）

技術的な定義、指導、規則又は特性を記した文書であり、その内容により次の2種類に分類する。

基 準

遵守すべき要求事項を示したもの

指 針

守ることが望まれる事項を示したもの

（2）質疑応答・運用解釈（KHK Interpretations）

規格等に対して寄せられた質問に関する回答及び規格等の運用解釈

（3）技術文書（KHK Technical Documents）

（1）及び（2）以外で、次のもの

技術的な成熟度その他の点で、十分なコンセンサスに達する段階には至っていない規格案であって、将来的に制定が期待されるもの

規格等の作成根拠に関する技術調査報告書等

3．技術基準の制定活動

（1）技術基準の制定、改正又は廃止の要否を審議し、3ヶ年計画としてとりまとめ、当該3ヶ年計画の進捗状況を毎年確認することとする。

（2）各技術基準は、制定、改正又は確認の日から少なくとも5年を経過する日までに最新の技術的知見に基づいたものか等の全体的な確認を行うこととする。

（3）制定した規格等の質疑応答、運用解釈を必要に応じて作成することとする。

（4）他の標準化団体等との協力を密にし、共同規格の制定に積極的に取り組んで行くこととする。

(5) 技術基準の制定又は改正に際しては、関連する海外及び国内の法令、規格、基準等について調査、検討し、整合性に十分配慮することとする。

4. 規格委員会の所掌範囲

技術基準の調査審議は、その内容に応じ、別添に示す分野毎に応じて設ける規格委員会が所掌する。

5. 技術基準の調査審議に関わる委員会等

(1) 構成

高圧ガスの保安に関する技術的な事項に関し学識経験を有するものによって構成し、決められた業種バランスを考慮したものであること。

(2) 審議の原則

公正、公平、公開を原則に、決められた手順に従って審議を行うこと。

(3) 委員倫理の遵守

技術基準の調査審議に関わる全ての者(以下「委員等」という。)には、専門家としての名誉にかけて、公共の安全の確保のため偏見なく、忠実、かつ、正直に知識及び技術を発揮することを求める。

6. 技術基準の制定及び改廃責任

協会会長は、技術基準に係る技術委員会及び規格委員会の答申を受け、技術基準として制定又は改廃するものとする。

7. 技術基準の普及促進

制定又は改正した技術基準の普及及び利用の促進は、次の(1)から(4)までによる。

(1) 印刷物の発行

(2) 高圧ガス誌、協会ホームページ等への掲載

(3) 講習会又は説明会等の開催

(4) その他普及及び利用の促進のため必要と判断されるもの

8. その他

前項までに規定する事項の実施に際しては、協会が別に定める規程類に従い実施することとする。

| 分 野 | 分野に対応する 主たる法律・規則 | 技術基準の所掌範囲 |
|----------|--|---|
| 1．圧力容器 | 高圧ガス保安法 特定設備検査規則 | 圧力容器等に係る設計、材料、製造、試験、 検査等 6．その他によるものを除く。 |
| 2．移動容器 | 高圧ガス保安法 容器保安規則 | 容器及び附属品に係る設計、製造、検査等 6．その他によるものを除く。 |
| 3．高圧ガス | 高圧ガス保安法 一般高圧ガス保安規則 液化石油ガス保安規則 コンビナート等保安規則 | 高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動、消費 等に係る取扱い、これらに係る設備、施設 等の設置、維持管理等 1．圧力容器、5．液化石油ガス又は6． その他によるものを除く。 |
| 4．冷凍空調 | 高圧ガス保安法 冷凍保安規則 | 冷凍空調設備の設計、製造、試験、検査、 設置、運転、維持管理等 6．その他によるものを除く。 |
| 5．液化石油ガス | 液化石油ガスの保安の確 保及び取引の適正化に関 する法律 | 供給設備、消費設備、液化石油ガス器具、 充てん設備、検査機器等に係る設計、製造、 施工、維持管理等 1．圧力容器、2．移動容器又は6．そ の他によるものを除く。 |
| 6．そ の 他 | - | 専門性を要求されるもの等であって、個別 の検討が妥当と判断される技術基準 |